

やまがた農村フォトコンテスト

【募集テーマ】

やまがたの農村をテーマに、あなたが伝えたい山形の農村の四季、風景、働く喜びなど、幅広く農村生活をとらえたもの
(田園の風景、農作業の風景、伝統文化(祭り)、疏水、地域保全活動等)



優秀賞

ふるさとを
探そう

あなたが伝えたい 山形の水・土・里

MIDORI-NET YAMAGATA
一般の部
NOSON PHOTO CONTEST

最優秀賞 「まだまだ現役」
鈴木 貞治(天童市)
■撮影場所/大石田町



「大堤の夜明け」高橋 俊二(山形市)
■大石田町

水土里ネット
やまがた
会長賞



「清流を守る人達」佐々木 勝則(酒田市)
■遊佐町

山形新聞社賞



「朝仕事」長谷部 基雅(米沢市)
■川西町



「祭りの日」矢萩 藤男(山形市)
■西川町

特 選



「早苗輝いて」 樋渡 博(新庄市)
■新庄市



「朝焼けのオレンジ色に染まる里」
島貫 一郎(飯豊町) ■飯豊町



「雪中田植え」 芳賀 和代(寒河江市)
■東根市

入 選



「漁場の朝」 戸塚 喜八(新庄市)
■鮭川村



「晩秋の農村」 植松 晃(山形市)
■飯豊町



「至福の一服」 金子 忠幸(山形市)
■山形市



「ハイポーズ」 三浦 民雄(酒田市)
■三川町



「春景」 富樫 辰也(山形市)
■大石田町



「桜林獅子踊り」 富樫 馨(酒田市)
■酒田市



「おんちゃん、先に帰っていいよ～」
遠藤 諭(仙台市) ■鶴岡市



「秋日和」 阿部 紀秋(山形市)
■朝日町



「受粉作業」 佐々木 吉治(酒田市)
■酒田市



「田園の絆」 伊藤 和男(山形市)
■大江町



最優秀賞

「春うらら」

設楽 大翔(山形県立山形南高等学校3年)
■村山市

優秀賞



「おてんば娘のお手伝い」

齋藤 柚子(鶴岡市立羽黒小学校5年)
■羽黒町



「いただきます。」

梅津 灯大(鶴岡市立豊浦小学校6年)
■鶴岡市

特選



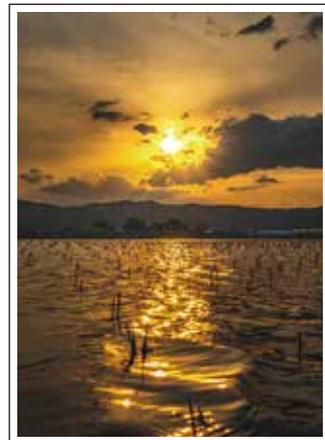
「時代は、ドローン」

新館 実仁(鶴岡市立羽黒小学校5年)
■鶴岡市



「羊のおさんぽ」

丸山 紗和(鶴岡市立羽黒小学校5年)
■鶴岡市



「煌く田園」

早坂 七斗(山形県立村山産業高等学校2年)
■山形市

入選



「八重桜トンネル」

五十嵐 蘭人(鶴岡市立朝陽第六小学校6年)
■鶴岡市



「パパ、とれたよ!」

眞田 創維(鶴岡市立羽黒小学校5年)
■山形市



「いたー!カブト虫!!」

本間 羽奏(三川町立押切小学校3年)
■鶴岡市

審査講評



山形県写真連盟 会長
阿部 直美

今回で28回目を迎えた「ふるさとを探そう!やまがた農村フォトコンテスト」は、農村の四季や風景、人々の働く姿など幅広い農村の生活をテーマにした写真を募集し、農村の良さや農業の大切さを訴えてきました。

今回の応募作品数は、一般の部に県内の写真愛好家58人から172点、学生

の部には小・中・高校生70人から82点の応募がありました。総数で128人から254点となり、コロナ禍によるものと思われるが、昨年比べて大きく応募作品数が減少となりました。とりわけ、4月以降、イベントや民俗行事が中止となったことから、祭りを捉えた作品が少なかったのは残念な限りです。

とはいえ応募作品は、農村や農作業の風景、農村社会に伝わる祭りや民俗行事を捉えた素晴らしい写真がほとんどで、審査には大変苦労しました。入賞された皆さんには心からお祝い申し上げます。

私たちの周りには、農業に関わる文化や民俗行事、ふるさとの原風景が数多く残されています。それらを後世に伝えるためにも、皆さんの豊かな感性で被写体に接し、感動する写真を撮り続け、次回も挑戦していただくことを期待します。

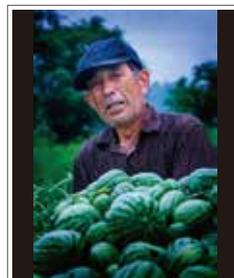
【一般の部】

最優秀賞

「まだまだ現役」

鈴木 貞治 (天童市) ■撮影場所/大石田町

収穫した小玉スイカを前にカメラを見つめる老農夫を捉えた作品ですが、タイトル通り、日焼けした顔には「隠居には早い、これから一線で作物を収穫するんだ」という強い意思が感じられる人物写真としても優れた作品です。青みがかった空と青い帽子、背景の緑と手前のスイカの緑という寒色の中に日に焼けた老人の顔が浮かび上がるように全体の色調を整えた素晴らしい作品です。



優秀賞

「大堤の夜明け」

高橋 俊二 (山形市) ■大石田町

大石田町田沢地区にある大堤の朝焼けに色づく一瞬を捉えた作品です。オレンジ色の空と水面の映り込み、そしてシルエットとなった土手の樹木、さらには水面の水鳥の波紋と、全てが相まって早朝の静寂感を表現しています。さらに藤色に霞む山並みが奥にうっすらと映り込んでおり奥行き感のある日本画のような美しい作品です。



水土里ネットやまがた会長賞

「清流を守る人達」

佐々木 勝則 (酒田市) ■遊佐町

鳥海山を源とし、日本海に流れ込む洗井沢川は清流として有名であり、丸池や遊佐の海岸の伏流水等写真のモチーフとして多くのカメラマンが撮影を楽しんでいます。この作品は、この清流を守るため地域の方々の手による除草作業を捉えたものですが、朝日に煌めく水しぶきや川霧が写し込まれた技術的にも素晴らしい作品です。



優秀賞

「朝仕事」

長谷部 基雅 (米沢市) ■川西町

水が張られた田植前の水田が朝陽で朱色に染まり、その中で除草剤の散布作業をするシルエットの男性、その足元からは歩く毎に発生する波紋、そして画面の奥にはトラクターが写り込まれたとても美しい作品です。静寂感に包まれた早朝の水田、散布機のエンジン音が遠くから聞こえてくるような農村風景を捉えた素晴らしい作品です。



山形新聞社賞

「祭りの日」

矢萩 藤男 (山形市) ■西川町

西川町岩根沢の祭りの一時を捉えた作品です。月山の麓の岩根沢地区は雪深く、春祭りは人々がその訪れを心待ちにしていたのではないのでしょうか。祭り帰りのご婦人4人がそれぞれ「花」を手に微笑んでいる姿は雪が溶け、花が咲く山里の春の穏やかな日差しを全身で受け止めているような幸福感を感じさせられる素敵な作品です。



【学生の部】

最優秀賞

「春うらら」

設楽 大翔 (山形県立山形南高等学校3年) ■村山市

ハウス内のサクランボへの農薬散布作業を捉えた作品です。全体的にハイキー気味な露出でサクランボの白い花と散布機の赤い色、そして作業している人のウインドブレーカーの青い色が柔らかく表現されており、タイトルの「春うらら」の通り、春の穏やかな陽光が上手く表現された作品に仕上がりました。



今年度の展示は11月4日にビッグウイングで行う土地改良大会のときのみとなります。

■主催: **水土里ネットやまがた** (山形県土地改良事業団体連合会)

■協賛: (株)メコム/富士ゼロックス(株)山形営業所/(有)たかしま保険サービス/(株)ユア시스/(株)山形測器社/山交観光(株)

■後援: 山形県/山形県多面的機能支払推進協議会/山形県写真連盟/山形新聞/山形放送



お問い合わせ



水土里ネットやまがた

第28回 やまがた農村フォトコンテスト事務局

〒990-2473 山形市松栄1-7-48 TEL 023-647-5371 FAX 023-647-5391

入賞作品を紹介しています
www.sanae.or.jp